

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
70

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 (令和4年3月20日発行)

SPRING 2022



「つながろう女性鉄筋工の和」と題して全国の女性鉄筋工の方々の意見を聞いてみよう、令和4年1月20日にオンライン形式で集まっていたが、この座談会は、会社では一人の女性鉄筋工かもしれないが、全国には活躍している多くの仲間がいることを実感してもらい、技能者の更なる士気向上を第一の目的と位置付けました。また、雇用する側の企業に対しては、女性技能者を長く雇用するための改善を知る一助になると考えました。実際に寄せられた多くの意見でわかったことは、トイレ環境や更衣室問題が何年たっても改善されないという現実でした。現場の規模により難しい所があるのは理解していますが、その中でもトイレの使い方はどうでしょうか？ 商業施設などでは女性トイレに男性が入ることなどないのに、現場ではあるというモラルの欠如による問題にも感じられました。そういった様々な意見を取りまとめた改善要求を関係各所に発信することで、更に働きやすい環境になるようこれからも活動していきたいと思っています。

このたびの座談会にご参加くださいました女性鉄筋工の皆様、趣旨にご賛同いただいた企業様には心より感謝申し上げます。このよ

参加者

北海道から平田さん、長野県から橋本さん、鉄工協から森さん、東鉄協から藤田さん、関西から中村さん、山口県から角屋さん
パネリスト：宮本さん、木浪さん、駒井さん

女性技能者の全国 Web懇談会

女性活躍推進WG

第1段階	第2段階	第3段階
企業アンケート調査	女性技能者アンケート調査	Web懇談会開催

今後の対応について

国土交通省への 上申	現場所長への アプローチ	懇談会の 継続開催
---------------	-----------------	--------------

第1段階 企業アンケート調査 (抜粋)

【質問】女性技能者に伝えたいことを

- 仕事を覚えて段取りをうまくできるようになれば、職長にも親方にもなっていけると思われますので、頑張って上を目指してください。
- 男性が多い中、頑張られていることはすごいことだと思います。是非続けてください、応援しています。
- 男性職のイメージが強いですが、現場でも女性目線でのとらえ方や考え方で、今以上に今後は女性が活躍できる魅力のある鉄筋工事業だと思います。

- 現在、当社は女性技能工がいません。しかし、これからは女性に活躍してもらいたい会社は将来は無いかもしれない危機感を抱いています。まずは女性技能者の採用、それから気分よく働いてもらう環境をどのように作っていくか？
- 大変関心がありますし、大いに期待しています。頑張ってください。
- 女性技能者が在籍していない会社は、どうすれば入社してくれるのか？どうすれば働きやすい環境となるか？など分からないことが多くあります。女性技能者の皆様がどのようなお考えを持って仕事に取り組んでいるのかをどんどん発信していくことが、今後更なる女性技能者の増加や活躍に繋がると思います。

第2段階 女性技能者アンケート調査 (抜粋)

- 貴方は、たくさんの選択肢からどうして肉体労働の鉄筋工を選んだのですか。
 - 楽しさと達成感、やりがいが一番感じられるから
- 鉄筋加工組立の作業全般で、女性も可能な、むしろ適している作業はありますか。
 - 重いものを持ち上げたり運んだりの力仕事ではない限り、女性でも可能
 - 細かい作業においては女性が適していると思う
- それでは逆に、女性では無理な作業は、どのようなことですか。
 - 重量の重い鉄筋の取り扱いや、複雑な加工物は力のいる作業が多いので、女性には難しい
- 仕事として、女性目線の「楽しさ」や「やりがい」を感じることは何ですか。
 - 作業自体に女性、男性の性差は関係ないので女性目線とは違いますが、機械の取り扱いや入力に必要な知識を覚えて、一人で加工ができるようになって上司に褒められたりするとやりがいを感じる
 - 色々な業者の人達と関わりながらみんなで造る達成感が、階を上るごとに深まっていくのでやりがいをとても感じる
 - 男性ばかりの職場で、さっぱりして人間関係で悩むことが少ない 口の悪い人もいるが、根から性格が悪いわけではないので、慣れ
- 今、目標であったり、鉄筋工における夢はありますか。
 - 組立施工の一級を取り、基幹技能を所得し、会社を持ちたい
 - 鉄筋技能士の資格を取得したので、次は施工図やCADをマスターしたい
 - 子供に自慢できる仕事を長く続けられたらと思う
 - 今の夢は、技能試験に合格すること
 - 大きな夢は、たくさんの若い人に鉄筋工を知ってもらい、盛り上げていきたい
- この鉄筋業界の魅力を、一言でいうと何ですか。
 - 時給の良さ、休みが取りやすいこと
 - 建物が完成したときの達成感と、経験と様々な資格でスキルアップが出来ること
 - 建物の構造上、最も大切な部分を作る作業であること
 - 自分が関わった建物が残ること
- 仕事を辞めたい、替えたいと思ったことがあれば、その理由は何ですか。
 - 冬の時期の冷たい雨の中仕事する時
 - 会社の中での人間関係
- 仕事をする上で、不便を感じることを列記してください。
 - トイレ、着替える場所【意見多数】
 - トイレの不備、階が上がってのスカイトイレがない
- 結婚や、子供ができて仕事が続けられますか。また、不安は？
 - 続けられないと思う。子供を預けて働いても、現場が遠いとお迎え時間も考えて会社に迷惑をかける

- まだ想像がつかないが、鉄筋工事の仕事が大きく変わらないと思うので、復帰しやすいのかなと思った
- また、仕事と家庭の両立にあたり、時短制度や休暇が取りやすい環境も大切だと思う
- 子供を二人出産したが復帰できた、他の業界より復帰しやすいと思う
- 不安は、早朝から預けられる保育園がなかなか見つからないので、そこが難しいところ
- 現場の仕事は、朝が早く帰りが遅いので厳しい面が多くある。周りの協力が必要
- 10 仕事での出来事で、壁にぶつかったこと、嫌に思ったことなどがありましたか。
 - 職人に強く怒られたときはトイレで泣いた
 - 11年も経てば図太くなり、メンタルも強くなったが、最初は怖かった
- 11 仕事の中に、悪意味の男女差別（ハラスメント）を受けたことがありますか。
 - 夏にポロシャツになった時に胸の形が出るせいか、男性社員の目（いやらしい目）が気になることがあったため、最近では夏でも作業服の上に着用して仕事をしている
 - また、男性社員と話をしていると、やはり性に関する話題になることもあり、正直ドン引きする
 - 言葉のセクハラ、「子供はまだ？」等のハラスメント
- 12 男性との体力差は否めませんが、何か工夫していることはありますか。
 - 体力づくりのため、ランニングや筋力トレーニングをしている
 - どうしても体力差は出来てしまうし無理をするって怪我の元なので、無理をしないで少し休憩をとりながら作業をするようにしている
- 13 総じて、女性が現場に出るときの、注意すべき点は何でしょうか。
 - 甘えすぎると良くないけど、頼りすぎると良くない
 - 男性には分からない事が多いので、ちゃんと自分の意見を言えないといけないし、周りを頼る事も必要
- 14 女性技能者を増やすためにはどのような「改善」や「取組み」が必要ですか？
 - 清潔感のある職場、現場だと思う
 - 建築業は男性の仕事・職人さんは怖い・肉体労働できついというイメージを持つ方が多いと思うので、現場はみんなで協力して大きなやりがいを感じることができ、女性も活躍できる職場だということアピールする事が大事
 - 年間休日の増加や、始業・終業時間の個人の実情（子育て中等）に合わせた調節をしていただけたら有難い 男女のトイレの場所を完全に分ける等、セクハラにつながりにくい状況を作っていたら有難い
 - トイレは、男女別にする。更衣室の設置【意見多数】
- 15 求人活動において求職者へアピール出来る事。
 - 女性でも出来る作業は沢山あるし、トイレも男女別の現場が増えていくのが魅力
 - 資格も色々取らせてくれるので、給料も少しずつ上がっていくのが魅力
 - 鉄筋業はなかなか踏み出しにくい仕事かとは思いますが、誇りを持ちながら出来る仕事手に職をつけてステップアップを目指せる機会が沢山ある
 - 自分が携わった鉄筋によって建物が建ち、地図に載る子供に誇れる仕事だと思う

2022年度 登録鉄筋基幹技能者講習 開催地

■認定講習

	開催地	開催日	定員	開催会場
126	福岡	2022/4/1~2022/4/3	50	久留米リサーチパーク
127	東京	2022/4/22~2022/4/24	85	東京都立産業貿易センター
128	沖縄	2022/6/16~2022/6/18	120	西洲卸団地ホール
129	東京	2022/8/26~2022/8/28	65	台東区民会館
130	広島	2022/8/26~2022/8/28	54	東区民文化センター
131	大阪	2022/10/8~2022/10/10	128	国民會館 大ホール
132	愛知	2022/10/8~2022/10/10	60	中小企業振興会館
133	神奈川	2022/10/22~2022/10/24	60	神奈川県建設会館
134	静岡	2022/12/8~2022/12/11	100	富士教育訓練センター
135	北海道	2023/2/23~2023/2/25	150	札幌市産業振興センター

■更新講習

	開催地	開催日	定員	開催会場
132	広島	2022/4/3	100	広島YMCA国際文化センター
133	東京	2022/4/10	90	東京都立産業貿易センター
134	東京	2022/4/29	65	台東区民会館
135	宮崎	2022/5/15	100	ホテル中山荘
136	福島	2022/7/3	72	郡山労働福祉会館
137	東京	2022/9/10	65	台東区民会館
138	大阪	2022/9/11	128	国民會館 大ホール
第139回更新講習は開催中止				
140	福岡	2022/10/2	50	久留米リサーチパーク
141	静岡	2023/2/12	100	富士教育訓練センター
142	北海道	2023/2/26	150	札幌市産業振興センター

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります。

<http://www.zentekkin.or.jp/>
又はQRコードでアクセス



全鉄筋の主な年間行事

■令和4年度第1回理事会（前年度報告承認）

2022年5月18日（水）14:00～ エッサム神田2号館

■社員総会（前年度報告承認、次年度計画承認）

2022年6月3日（金）14:00～ TKPガーデンシティ浜松町
※役員改選期でないため、理事会の同日開催はありません。

■事務局会議（事業計画周知、事務局連携）

2022年7月1日（金）14:00～【Web会議】

■第4回全国鉄筋技能大会（TETSU-1 GRAND PRIX）【延期開催】

2022年7月24日（日）終日 富士教育訓練センター

■秋季定例会（事業推進状況報告）

2022年10月28日（金）14:30～ ホテルメトロポリタン仙台
※令和4年度第2回理事会（職務執行状況報告）を13:00から同会場にて開催いたします。

■青年部全国連絡会議

2022年11月11日（金）13:00～ 八戸パークホテル

■令和4年度第3回理事会（次年度計画承認、職務執行状況報告）

2023年3月17日（金）15:00～ 会場：未定

＜又、必要に応じて臨時理事会を開催いたします。＞
コロナ禍の折、Web会議やWeb併用会議に変更することがあります。
改めて、会議開催のご案内をいたします。

安全優良職長表彰

頭彰状
松本浩二 殿
あなたは優秀な作業指揮により多年にわたり職場を熱心な指導に努め、安全の確保に力を尽くすことにより、我が国の安全衛生水準の向上に貢献し、他の模範と認められました。ここに安全優良職長として表彰し、永くその業を勉めます。
令和四年二月十四日
厚生労働大臣 後藤 茂之

松本浩二 様

組合紹介
鹿児島県鉄筋業組合

鹿児島県鉄筋業組合の紹介とご挨拶をいたします。

鹿児島県の面積は約9,188km²で、九州地方で1位、全国では10位の広さです。県内には約600の離島があり、うち26島が有人です。離島の総面積は約2,485km²で県全体の約27%を占め、島の人口とともに全国1位です。

自然遺産、文化遺産を含む3つの世界遺産をはじめ、世界に誇る魅力的な観光スポットがたくさんある鹿児島県。自然、温泉や離島めぐり、歴史ある祭りに四季の彩り。力強い土地の魅力にあふれています。県庁所在地は鹿児島市で桜島や鶴丸城跡、島津家別邸の仙巖園などの観光スポットが人気です。

鹿児島県といえばおいしいものの宝庫。安納芋にさつま揚げ、桜島だいこん。甘夏、たんかんなどの柑橘類。黒豚、黒牛、地鶏、鶏飯、養殖量日本一のウナギ。芋焼酎も人気です。

鹿児島県鉄筋業組合は昭和50年代に設立し、現在、会員33社、賛助会員9社の総勢42社での運営をしております。

会員皆様のご理解とご協力もあり、情報交換や助け合いも長年に渡り、受け継がれています。

会員企業それぞれが試験講師の免許を取り、職業能力開発協会と協力をし、技能講習や技能試験を実施したり、人材確保に力を入れ、高校などに出張セミナーを行ったりしています。これらは会員皆様のご協力があったからこそです。

今後も会員皆様と切磋琢磨し、協力し合い、技術の向上に向け取り組んでいきたいと思っております。

そして、全鉄筋に加入し、新たな情報交換が学べる機会がで、これから、もっともっとレベルを上げて参ります。

全国の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

各地区広報活動報告

関西鉄筋工業協同組合

関西鉄筋工業協同組合では人材確保支援事業の一環として、関西地区の工業系高校及び専門学校、大学を対象に出前講座を開催しました。講座は鉄筋職種単体で行う場合もありますが、主に他職種の団体と合同開催しています。

◆奈良で複数校対象に出前講座開催

－朱雀高校、吉野高校、奈良技専校の生徒54名が参加－

関西鉄筋工業協同組合と関西圧接業協同組合(足立真規理事長)は11月10日、奈良県立高等技術専門校で出前講座を開催しました。この出前講座は(一社)奈良県建設業界の主催により、生徒たちに建設業が様々な業種で成り立っていることを知ってもらい、実際に体験をすることで将来の進路選択の幅を広げてもらおうと実施しています。当日は午前と午後の部に分けて行われ、午前の部では朱雀高校建築工学科の2年生33名が、午後の部では吉野高校土木工業科2年生12名と奈良県高等職業技術専門校の生徒9名が、「3級鉄筋施工(鉄筋組立作業)」の実技問題と同様の組立と「圧接作業」を体験しました。

生徒たちは、慣れない手つきながらもハッカーを使って結束作業に取り組んで、プロの職人の指導や助言を受けながら一生懸命に作業を進めていました。また、圧接体験では火を怖がる生徒もいましたが、的確な指導のもと率先して作業に取り組んでいました。奈良県での出前講座ということもあり、講師は組合会員の奈良県企業が中心となって務めて生徒たちを指導しました。



◆都島工高60人が鉄筋作業体験

－技能検定3級モデルに挑戦－

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)と関西圧接業協同組合(足立真規理事長)は11月11日、大阪市立都島工業高等学校で出前講座を開催しました。建築科の2年生60名が参加し、鉄筋組立や圧接の作業を体験しました。午前はA組の31名、午後はB組の30名の受講。熟練した講師の丁寧な手ほどきで結束などの作業を教わりながら、鉄筋3級技能士資格のモデルの組立と圧接作業に挑戦しました。

出前講座の意義について森山副理事長は「すでにみんな進路を思い描いていると思うので、実際に鉄筋工になってほしいというより、将来の職業での参考にしてもらえればと考えて実施している。設計や施工管理に鉄筋のことを理解している人がいてくれると助かる」と生徒たちに語りました。



◆宮津高校28名が結束体験

－技能検定3級合格に向けた出前講座－

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)は11月18日、宮津高校で出前講座を開催しました。建築科の2年生28名が参加し、鉄筋組立作業を体験しました。

同校は毎年生徒数名が3級鉄筋施工を受検しています。今年は受講生28名のうち18名と、受講生の他に3年生1名と教員1名が技能検定2級を受検する予定です。講座は6班に分かれ行われ、このうち受検する生徒は結束体験のみならず、寸法の取り方や組立手順など、技能検定合格に向けた専門的かつ丁寧な指導内容で進めました。生徒たちもメモを取りながら必死に取り組み、講習の合間には、2級を受検する2名に対して両だすき結束の方法や図面で組立手順なども指導しました。

京都府での出前講座ということもあり、講師は組合会員の京都府と滋賀県企業が中心となって務めて生徒たちを指導しました。



◆専門学校他2校へ出前講座開催

11月26日に開催した修成建設専門学校では、当組合と近畿建設躯体工業協同組合(とび・型枠)、大阪府左官工業組合(左官)、関西圧接業協同組合(圧接)の4団体5職種で開催しました。午前と午後の2部制で行い、合わせて59名の生徒が受講しました。生徒たちからは「5職種の体験ができ教科書に載っていることや見るものとは違い、実際に自分が体を動かして実践できたので、とても有意義な時間となった」との意見がありました。将来、建設業に従事する上でも、自ら体験したその業種の良い部分も悪い部分も実感してもらい、この講座が今後の学習活動に役立つことが期待されます。

この専門学校以外に、大阪府立西野田工科高等学校56名(3職種)、大阪府立布施工科高等学校34名(5職種)の生徒を対象に当講座を開催しました。



北海道鉄筋業協同組合

北海道鉄筋業協同組合では毎年の活動として、

- 1月 建設産業ふれあい展(2日間・一般開放)
- 1月 出前講座(1日・高校生対象)
- 7月 札幌技能フェスティバル(1日・一般開放)
- 7月 建設工事現場見学会(1日・高校生対象)
- 9月 こどものまち「ミニさっぽろ」(2日間・小学生対象)
- 9月 ものづくり学校祭(2日間・高校生対象)

と言う6回のイベントを主軸に活動しています。

その他にも、依頼、イベントがあれば積極的に参加しています。

昨年は、上記イベント以外、札幌商工会議所様より依頼があり、北海道高等学校長協会様と、高校生生徒達は就職時、面接時、就職決定後どのような心境

で取り組んでいるのか、企業側はどのような事を生徒達に臨んでいるのか等講義し、意見交換を行う、「高等学校教員向け就職指導セミナー」で講師として講演いたしました。

昨年の参加したイベントについてですが、近年のコロナ蔓延に伴い、開催の中止、縮小等発生していますが感染対策の徹底、参加者、開催者側の人数制限等に基づき、参加いたしました。

各イベント共に、アンケート等でとても好印象な意見を頂いております。どのイベントも建設業、特に鉄筋工事業に興味を持って貰いたい、地図に載り、100年耐えるものづくりをしたいと思ってくれる若者が少しでも増えてくれることを思い、活動しています。



7月 建設工事現場見学会(1日・高校生対象)



9月 ものづくり学校祭(2日間・高校生対象)



9月 こどものまち「ミニさっぽろ」(2日間・小学生対象)

トピックス

全鉄筋の事業ご紹介として

AIG損保

業務災害総合保険 加入促進

全鉄筋が事業推進する団体保険の加入促進
 業務災害総合保険につきまして、現在事業者数割引15%適用となっております。
 2022年6月時点での加入者が100社以上となりますと、事業者数割引は20%適用となります。
 お問い合わせ、お申し込みはAIG担当者までご連絡ください。 AIG担当：齋藤哲也 TEL：03-5637-0721

外国人技能実習生

日本語スピーチコンテスト

チュオン クオック ヒエウさんは全鉄筋の第85期技能実習生です。

技能実習1号を経た後、現在は技能実習2号として現場で活躍しています。

今回の第2回日本語スピーチコンテストのテーマ【日本とベトナムのゴミ問題について】を流暢な日本語で披露し、見事優良賞を受賞されました。



AIG **AIG損保**
 全国鉄筋工事業協会の皆様 2022年1月
 ~建設業者・各種工事業者の皆様へ~
工事総合補償プラン

工事総合補償プランは工事業種・規模等に基づき4種類の保険から構成されています。ご希望の組み合わせでご加入いただけます。

損害賠償責任リスク
事業賠償・費用総合保険

従業員のケガのリスク
業務災害総合保険

損失

第三者
 建設中の建物・資材
 従業員、パート・アルバイト、下請作業員、現場警備員

工事対象物のリスク
建設工事保険

事業賠償・費用総合保険
組立保険
 「工事用物損害補償特約」

1 **つけ忘れなし**
 日本国内どこでも工事現場でも対象になります。

2 **安心**
 4種類の保険が、リスクを包括的に補償します。

3 **便利**
 保険料の払込みは口座振替が可能です。

●このチラシは保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、取扱代理店・扱者または弊社にお問い合わせください。
 ●また、ご契約に際しては、保険商品についての重要な情報を記載した重要事項説明書(「契約概要」「注意喚起情報」等)を、事前に必ずご覧ください。
 ●弊社の損害保険募集人は、保険契約締結の代理権を有しています。

AIG損害保険株式会社

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20
 03-6848-8500
 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
<https://www.aig.co.jp/sonpo>

お問い合わせ・お申し込みは

弊社担当社員 齋藤 哲也
 〒130-0013
 東京都墨田区錦糸1-2-4 アルカエスト4F
 Tel 03-5637-0721 Fax03-3622-2040
 メール icon.saitout@aig.co.jp

3A1-892 (B-210372)21-10 30K(AC)

編集後記

10年ほど前、全鉄筋の青年部に参加し始めたころ、ある先輩経営者が、「こんな単価になったら会社が持たない!このままじゃ、社員を雇用しきれない!」と話をしていた。若気の至りで、「そうだったら、別の会社はその社員を雇った方が、その社員自身は幸せなんじゃないですか!」と生意気なことを言って、場の空気を凍らせてしまったことを思い出した。

帝国データバンクによると、日本の社長の平均年齢は59・7歳で、社長の年齢が60歳を超える会社における後継者不在の割合は、53・5%だそう。

多くの会社が後継者不在で困っている。数か月前、神奈川でも廃業を選択した経営者もいた。

ここ数年、M&Aの市場は活況を呈している。鉄筋工事業同士が統合するだけでなく、メーカーや商社、さらには異業種が私たちを買収しようとしている。事業承継の選択肢の一つとしてM&Aを考える経営者も少しずつ表れてきているようだが、まだその数は少ない。

社員を守る責任があるのに、他社へ会社を譲渡するのは無責任だ!と考える経営者の方が多いだろう。でも、買いたいといってきている会社が日本を代表するゼネコンやそれに匹敵する会社だったらどうなのだろうか?

どちらが社員にとって幸せなのか? そう問われると揺れ動く経営者も多いと思う。しかも、どちらが正解だといえない。どちらも正解だと思おう。

今後、人口の減少と共にパイはさらに縮小し、間違いなく業界内で統廃合が進む。その時に多くの経営者がこの問いにぶち当たり、意思決定をするときが迫っているように感じる。

工藤 桂一

- 編集委員**
- 委員長 宮本 直樹 (宮城)
- 副委員長 木浪 裕子 (北海道)
- 松本 桂一 (東海)
- 工藤 桂一 (神奈川)
- 松浦 真一 (静岡)
- 田中 真一 (関西)